

標 題 : Italian Mediterranean Index and risk of colorectal cancer in the Italian section of EPIC cohort
EPIC コホートのイタリア部門における
イタリア地中海食事指数と結直腸がんのリスク

著 者 : C. Agnoli, et al. (イタリア Fondazione IRCCS Istituto Nazionale dei Tumori
疫学・予防部)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 132: 1404-1411 (2013)

要 旨 :

結直腸がんは、世界中で最も多いがんである。

食事要因が結直腸がんリスクと関連するけれども、先験的な食事パターンと結直腸がんとの間の関連を評価した研究は少ない。

結直腸がんのリスクに対する「イタリア地中海指数」で測定した地中海食事パターン順守の影響を、食事アンケートを完了した EPIC 研究のイタリア部門の参加者 45,275 人で我々は評価した。

「イタリア地中海指数」のスコア区分との関連で結直腸がんのハザード比(HR)および 95%信頼区間(CI)を、コホート全体、男性と女性、およびがんの副部位に関する既知の危険因子を調整した多変量 Cox モデルで推計した。

平均 11.28 年の追跡中に、435 件の結直腸がん症例が確認された。

「イタリア地中海指数」は結直腸がんリスクと逆相関した (HR: 0.50; 95%CI: 0.35-0.71 最高区分を最低と比較して、P-動向: 0.043)。

結果は性別によって変わらなかった。

最高の「イタリア地中海指数」は全ての結腸がん(HR: 0.54; 95%CI: 0.36-0.81)、遠位結腸がん(HR: 0.44; 95%CI: 0.26-0.75)および直腸がん(HR: 0.41; 95%CI: 0.20-0.81)のリスク低下とも有意に関連したが、近位結腸がんとは関連しなかった。

地中海食事の順守(「イタリア地中海指数」で測定)は一般的に結直腸がんを予防するが近位結腸の発がんは予防しないと、これらの研究結果が示唆する。

キーワード : 結直腸がん、地中海食事、追跡研究
